

平成22年度

教育行政執行方針

奥尻町教育委員会教育長 石島 孝司



平成22年第1回奥尻町議会定例会の開会に当たり、奥尻町教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

はじめに

今日の社会は、少子・高齢化や国際化、高度情報化など社会の構造的な変化の中において、一方、教育の場においては、子どもたちの生活習慣の乱れや規範意識の低下、学習意欲の低下などが大きな課題となっております。

子どもたちの健やかな成長は、全ての町民の願いであるとともに、今強く求められているのは、子どもたちが自立し、ともに支え合いながら変化の激しい時代を生きて行け

るよう、学校・家庭・地域が一体となって、確かな学力や豊かな心など、子どもたちの「生きる力」の育成にあります。

また、当町においては、今後においても児童生徒数の減少傾向が続くと見込まれており、子どもたちが、安全で安心な教育環境のもと、高い志を持ち、郷土を愛するとともに、心身ともに健やかに成長できるような良好な教育環境の確保が求められております。

教育委員会といたしましては、奥尻町の教育目標である「ふるさとに学び、町を育てる児童・生徒の育成」の実現と、先人から引き継がれている歴史や豊かな自然など、優れた教育資源を活かした教育

活動の推進のため、関係機関や団体との連携を図りながら、教育行政の推進に全力で取り組んでまいります。

学校教育について

次に、主な施策のうち、はじめに、学校教育について申し上げます。

① 確かな学力の育成

全国学力学習状況調査の結果から当町の子どもたちの学力をはじめ、生活習慣や学習習慣に課題が見られることから、学校・家庭・地域の方々の理解と協力を得ながら、生活習慣のリズム化や学習習慣の定着化に努めてまいります。また、子どもたちにとって

最も重要なことは、子どもたちが学ぶ楽しさやすばらしさを実感できる「わかる授業」の展開であることから、引き続き学習意欲を高める指導の工夫と充実を努めてまいります。



さらに、特別な教育的支援を必要とする子どもたちが今後増加する状況にあることから、幼稚園や関係機関との連携を図り、支援を必要とする子どもたち一人ひとりの実態を把握し、個別の指導計画や支援計画に基づいた、きめ細かな指導の充実と体制づくりを努めてまいります。

②豊かな心を育てる教育の推進

子供たちに生命を大切にす
る心や他人を思いやる心、美
しいものや自然に感動する心、
公共心や規範意識などをしっ
かり育むためには、他者との
ふれあいを重視した教育活動
が極めて重要です。

このため、学校における道
徳教育の充実や家庭での生活
習慣のリズム化、地域におけ
る自然体験やボランティア活
動など地域住民の参加や協力
を得ながら一層の充実を図っ
てまいります。

また「奥尻町いじめ・不登
校等対策委員会」を定期的に
開催し、各学校の取り組み状
況、実態把握、協議等を通じ、
情報の共有化や子ども会議を
開催するなど関係機関の密接
な連携図ってまいります。

③信頼される学校づくり

地域に開かれ信頼される学
校を実現するためには、自ら
の教育活動について積極的に

説明責任を果たすとともに、
保護者や地域住民の意見や要
望を受け止め、特色ある学校
づくりを進めることが大切で
あります。

このため、保護者アンケー
トの実施や自己評価はもとよ
り「学校関係者評価」等の
「学校評価システム」を生か
し、教育活動についての評価
と結果を公表するなど、家庭
や地域の信頼に応える開かれ
た学校づくりを推進していま
います。

④教職員の資質能力の向上・服務規律の保持

学校教育の成否は、学力向
上や生活指導の適切な対応な
ど、子どもを直接指導する教
師の資質・能力の力量にかかっ



ており、教師には教育の専門
家として、絶えず研究と修養
に励み自己の資質と能力の向
上に努める責務があります。

このため、「奥尻町教育推
進協議会」や各学校における
公開授業等を積極的に開催し、
指導方法の在り方や校内研究
に取り組んでまいります。

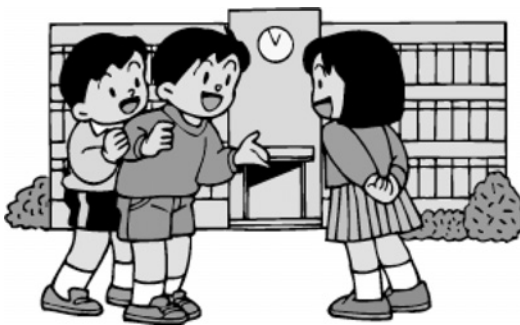
また、教職員の服務規律の
保持については、これまでも
指導の徹底を図ってきたこと
ろですが、昨年町内中学校に
おいて教員の不祥事が発生し
たことは記憶に新しいところ
であります。

いかなる不祥事であれ、道
民の教育に対する信頼を著し
く損なうとともに、学校の教
育活動にも大きな影響を与え
ることから、各種校内研修資
料等を積極的に活用し、教職
員一人ひとりの規範意識を高
め学校における不祥事の再発
防止と信頼回復に努めてまい
ります。



⑤学校環境等の整備

冒頭申し上げましたとおり、
当町においては今後さらなる
少子化の進行が予測されると
ともに、安心して子育てがで
きる環境づくりも求められて
いることから、教育委員会に
教育環境の改善や望ましい学
習環境の在り方などについて
検討する組織を立ち上げ、可
能なところから検討を進めた
いと考えております。



①社会教育の充実

平成22年度までの「第4期
奥尻町発展計画」との整合性
を考慮し、教育委員会では、
平成21年度から22年度までの
「奥尻町社会教育2カ年計画」
を策定したところであり、推
進目標の「奥尻町の風土に根
ざす生活文化向上のため、生
涯学習の観点に立ち、ふれあ
いと活力に満ちた町づくりを
目指す社会教育の推進」に向
け、活力ある生涯学習の実現
に努めてまいります。

奥尻町の現状は少子高齢化
に加え、若年層の町外転出に
よる人口の減少が進んでおり、
異世代交流や地域の連帯感な
どに希薄化の傾向が見られる
など、社会教育を推進するに
あたり厳しい状況にあります。

このような現状を踏まえ、
町民一人ひとりが様々な課題
を解決する能力を高め、生涯
にわたり充実した生活を営む
ことの出来る社会の実現に向
け、町民の学習ニーズの新た
な掘り起こしや、学習成果の
活用場所の確保、生涯学習を

社会教育について

次に、社会教育について申
し上げます。

教育行政執行方針



推進する指導者の発掘や人材育成を含めた学習機会の提供などに努めてまいります。
また、少子化の影響から、地域での子どもとふれあう機会や、子ども同士の交流の場が減少してきていることから、体験学習や異世代交流の機会確保を図り、感謝の気持ちや思いやりの心を持つ、人間性豊かな子どもの育成に努めてまいります。
さらに、心豊かでたくましい子どもを育むためには、家庭での教育はもちろん地域の人々のご理解とご協力が必要不可欠であります。
このため、学校、家庭、地域が一体となった支援体制の確立を図るため、新年度も「学校支援地域本部実行委員会」を組織し、各関係機関との連携を強化しながら学習情報の収集や提供に努め、地域性を生かした取組を実施してまいります。

②文化の振興

優れた芸術・文化に触れあうことは、人々がゆとりと潤いのある生活を実現していくうえで大きな力となるものであります。

このため、既存の文化団体やサークル等への支援を継続するとともに、新たな団体や指導者の発掘、育成に努めてまいります。

郷土芸能である「奥尻祈漁太鼓」の保存・伝承については、現在一般町民・自衛隊員などで受け継がれておりますが、今後は学生を含め幅広い年齢層での新規会員を募り活動の活性化を図るとともに活動場所の拡充に努めてまいります。



文化財の保護・活用では、青苗遺跡から出土した「丁字頭勾玉」が昨年12月22日に奥

尻町指定文化財として登録されたことから、この「丁字頭勾玉」の展示・公開を継続実施し歴史や文化財に対する町民の意識の高揚に努めます。



③スポーツの振興

町民が生涯にわたり、心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営むうえで、スポーツの果たす役割は大きいものがあります。

町民一人ひとりが健康の維持増進に努め充実した生活を送ることは、町の活性化につながるものと考えます。昨年改修整備された町のス

ポーツ振興施設である町民センターや新年度完成するパークゴルフ場の有効利用を図りながら「誰でも、いつでも、どこでも、なにからでも」気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努め、スポーツを通じた異世代交流や生涯スポーツの充実を努めてまいります。

おわりに

以上、学校教育、社会教育について平成22年度の教育行政執行方針について申し上げますが、教育委員会といたしましては、次代を担う子どもたちが、自立し、ともに支え合う共生の精神を持って、希望あふれる未来を築いて行くことができるよう、最善の努力を払ってまいります。

町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



入学(園)式の日程

◆東風泊保育所…4月9日(金) 午前9時30分

◆奥尻幼稚園…4月12日(月) 午前10時00分

◆青苗幼稚園…4月12日(月) 午前9時30分



◆宮津小学校…4月6日(火) 午前10時00分

◆奥尻小学校…4月6日(火) 午前10時00分

◆青苗小学校…4月6日(火) 午前10時00分

◆奥尻中学校…4月6日(火) 午後1時30分

◆青苗中学校…4月6日(火) 午後2時00分

◆奥尻高等学校…4月8日(木) 午後1時00分